

水泳事故

【観察・確認】チェック項目

- ☐ 体温が低い
 - ☐ よびかけに反応がない
 - ☐ 呼吸の有無
 - ☐ 頭部外傷の有無・頸椎損傷の可能性の有無
- ・胸の動きを見る
・口や鼻に耳を近づけて呼吸音を聞く
・頬に口を近づけて呼吸を感じ取る

あえぎ呼吸・いつもと違う呼吸は呼吸なしと判断する！

【対応・処置】チェック項目

- ☐ 溺水者を見つけたらただちに救助し陸上に引き上げる。
- ☐ 反応がない場合、普段通りの呼吸があるか「わからない」場合は、ただちにAEDを手配し、心肺蘇生を行う。
- ☐ 応援を要請。119番通報。AEDの手配をする。
- ☐ 呼吸がなければ直ちに胸骨圧迫開始(30回)⇒気道を確認して人工呼吸(2回)をくり返す。人工呼吸がためらわれる場合は胸骨圧迫のみ
強く・速く・絶え間なく！
- ☐ 呼吸が安定している場合、**気道確保**をして**回復体位**をとらせる。
・傷病者の下になった上肢に頭を乗せ下あごを前に出すようにし、手の上にあごをのせ支える。
・安定のため下肢は曲げ、後ろに倒れないようにする。
・目を離さず経過観察・救急隊を待つ。
- ☐ 頭部の損傷の可能性がある場合は体位の変換や移動に十分注意する。
- ☐ 体温の低下を防ぐため、水分を拭き取り毛布で保温する。
- ☐ 意識がない状態から回復した場合も、呼吸や心拍が正常になっていたとしても病院には必ず搬送する。

心肺蘇生法
胸の中心を強く速く確実に圧迫
1分間に約100回～120回の速さで



頭部の安静

頭側にしやがみ込んで、両手で頭を固定する。両手で顔をはさみ動かないように固定し、指を使って下あごの部分だけを上に持ち上げる。
首を固定して頭を後ろにそらさない。



参考資料:「学校における水泳事故必携(新訂2版)」
独立行政法人日本スポーツ振興センター
「学校における水泳プールの保健衛生管理(平成28年度改訂)」
公益財団法人 日本学校保健会

水泳事故対応フローチャート

